

しゅっぱっぱ

便り



～第12号～

- 【コンテンツ】
- ミニSLちびっ子機関士養成講座
- 紹介コーナー

続け ちびっ子機関士

夏休みは親子でミニSLの運転に挑戦

コロナ禍3年目の今年は様々なイベント行事が再開となり、各施設においても賑わいを取り戻しつつあります。

当博物館では、夏休み行事として、令和2年からミニSLちびっ子機関士養成講座を開講しており、受講生を募集しています。蒸気機関車の仕組みを学ぶとともに実際にミニSLを運転する迄のコースです。受講修了者には、当博物館限定の機関士認定書を交付しています。

夏休みの自由研究にもなるこの講座を是非ご利用ください。

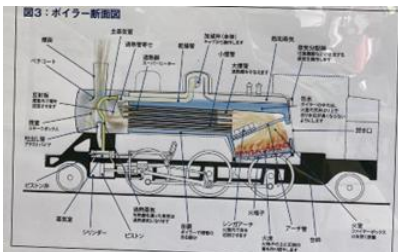
【ちびっ子機関士養成講座】（有料）

小学校1～6年生対象、1講座の定員4名、7～8月に4回程度開講予定、受講料は500円（資料代）、受講時間は1日（午前・座学、午後・運転講習）。

（昼食は各自ご持参ください。お問合せは当博物館まで）



田中ちびっ子機関士（左） 林機関士（右）



【上段】開館5周年 ちびっ子機関士ミニSL運転会

【中断】運転準備の様子

【下段】蒸気機関車の構造説明資料

展示車両紹介（デキ3形電気機関車）

デキ3形電気機関車は、1922年（大正11年）にドイツのアルゲマイネ社で製造された直流用電気機関車で、現在は銚子電気鉄道が所有し、同鉄道の仲ノ町駅において有志により動態展示されています。

当館展示のデキ3は、故中村名誉会長の所蔵の逸品で、こちらにも動態展示しており、ミニSL運転会の車両として出動もしています。

銚電のデキ3は黒色ですが、当館デキ3はスカイブルーが特徴です。



漆黒のお宝をお土産にいかが？

本物の蒸気機関車と同じ仕組みで運行されるミニSLですが、当然、燃料は「石炭」です。

ミニSLが石炭燃焼によって発する煙の臭いに、ほとんどのお子さんが「臭い」と驚きますが、祖母世代は「懐かしい香り」とこの世代間のギャップが楽しい会話の素ともなっています。

今年、家族の団欒のお手伝いにとミニSLの燃料「石炭」の販売を開始しました。瓶ケースに収まり200円は破格の値段。ミニSLの乗車体験に併せ石炭のお土産はいかがですか。



やずミニSL博物館（やずっぱ）

〒680-0408 鳥取県八頭郡八頭町西谷 竹林公園内

TEL：0858-71-0032 FAX：0858-71-0432

E-mail：yazuminisl@yahoo.co.jp

開館時期：3月1日から11月30日

開館時間：10時から15時（土日・祝日は16時迄）

乗車体験は10時から15時まで

入館料：高校生以上200円、乗車体験料100円/回